**第8回化学遺産市民公開講座**

主催：日本化学会化学遺産委員会・化学史学会

共催：日本化学工業協会（予定）

日本化学会化学遺産委員会では、平成21年度から化学関連の学術あるいは化学技術遺産の中で特に歴史的に高い価値を有する貴重な史料を認定する『化学遺産認定制度』を開始し、これまでの4回で22件を認定・顕彰した。平成25年度もこれまでと同様に化学遺産認定候補を一般市民・会員諸氏より公募するとともに、委員会でも認定候補として相応しいものを選定し、対象候補23件の調査・検証作業を行った。今回の市民公開講座では、基調講演とともに本年度第５回化学遺産として認定予定の具体的内容を紹介する。

実施日 3月29日(土)　13:30-17:15

会　場 名古屋大学東山キャンパス（名古屋市千種区不老町、日本化学会第94春季年会会場）

プログラム

司会　宮村　一夫（東理大）

13:30-13:35　開会挨拶（京大・名誉）植村　榮

13:35-14:25　基調講演　ノーベル賞から見た現代化学の発展（京大・名誉）廣田　襄

14:25-14:50　日本の近代化学の礎を築いた櫻井錠二に関する資料（科博）若林文高

14:50-15:15　エフェドリンの発見および女子教育に貢献のあった長井長義関連資料（徳島大・名誉）

渋谷雅之

休憩

15:30-15:55　旧第五高等学校化学実験場および旧第四高等学校物理化学教室（熊本大）谷口　功

15:55-16:20　化学技術者の先駆け　宇都宮三郎資料（地域人文化学研究所）天野博之

16:20-16:45　日本のプラスチック産業の発展を支えた　Isoma射出成形機及び金型（日本化学会フェロー）

田島慶三

16:45-17:10　日本初のアルミニウム生産の工業化（昭和電工）岩崎廣和

17:10-17:15　閉会挨拶（トクヤマ）三浦勇一

参加費：　無料。講演会資料代（予価）1,000円（当日徴収）。

申込方法：　日本化学会化学遺産のページよりお申し込みください。当日参加もできます。

申込先: URL：　http://www.chemistry.or.jp/know/heritage/

問合せ先：　日本化学会 企画部 美園康宏

　　　　　　　　〒101-8307　千代田区神田駿河台1-5

　　　　　　　　電話（03）3292-6163 FAX（03）3292-6318

　　　　　　　　E-mail: misono@chemistry.or.jp